



Title	日本語講座年報 2022-2023 投稿規程
Author(s)	
Citation	日本語講座年報. 2024, 2022-2023, p. 75
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/95483
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

『日本語講座年報』投稿規定

- ①掲載内容 1)学術論文・資料・書評論文など。
2)日本語教育実践報告書/事情報告書・講演/講義記録など。

②投稿資格

学術論文・資料・書評論文については

- 1)大阪大学外国語学部日本語専攻生
- 2)大阪大学大学院言語文化研究科日本語・日本文化専攻生
- 3)大阪大学大学院人文学研究科日本学専攻応用日本学コース院生
- 4)大阪大学大学院人文学研究科日本学専攻応用日本学講座教員
- 5)大阪大学外国語学部日本語専攻非常勤講師
- 6)1)～5)の投稿有資格者がファースト・オーサーである場合は、学外執筆も可。

日本語教育実践報告書/事情報告書・講演/講義記録等については

- 1)～5)および、6)各卒業生・修了生等

- ③審査 教員以外の論文については審査を行う。
審査結果は、＜採用＞・＜条件付き採用(書き直し)＞・＜不採用＞の3段階で示す。
掲載が決定したものについては、後日オリジナルを提出してもらう。

- ④原稿締切 別途定める。

- ⑤原稿枚数 原稿の種類により、別途定める。

- ⑥発行部数 (未定)

- ⑦抜き刷り 作成しない。

- ⑧原稿書式 (1)A4版完全原稿のワードファイルとプリントアウトしたものを一部提出すること。

(2)使用言語は問わないが、ワープロで原稿作成可能なものに限る。

(3)註は本文末にまとめることとし、脚注方式にしないこと。

(4)字数・行数は以下を目安とする。

【和文原稿】体裁は二段組みで、1行22文字、1ページ44行。

フォントはMS明朝で、本文は10ポイント。本文中の節タイトルはボールド。

原稿の題名は12ポイントボールド、名前は11ポイントボールドで、一段組(下図参照)。

【外国語原稿】体裁は二段組みで、1行33ストロークで、1ページ44行。

書式等は、編集段階で統一することがある。上下30ミリ、左右25ミリの余白をとること。

表やグラフは、二段組みでも一段組みでも良い。

(5)原稿は可能な限り横書きにすること。横書きが不可能な場合にも、A4用紙を縦長に使用することとする。縦書きに関するその他の書式は執筆者に一任する。(二段に分けるなど。)

(6)頁数は編集段階で入れるので、原稿表面には書き込まないこと。

ただし、散逸を避けるため、原稿裏面に鉛筆書きで通し番号を入れること。

(7)原稿の第一頁は次のようにするのが望ましい。

題目を中央に

中国〇〇大学における日本語教育

一行あけて執筆者名

外 大 花 子

一行あけて本文

本文.....

(8)肩書(「日本語・日本文化講座准教授」・「大学院M2」など)は不要。

(9)原稿は原則として返却しない。